

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

795

観光施設管理事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	4	観光の稼ぐ力の強化
施策	1	観光客受入体制の整備
取組方針	3	観光資源の魅力向上

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		観光費	
	目		観光振興費	
	大事業		観光振興事業	
	中事業		観光施設管理事業	

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 観光課 岩坂 真弓 435-1234
事業実施の根拠法令			関連課	

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	観光施設の維持管理を行い、観光客の受入体制の整備を図る。		観光施設の維持管理を行い、観光客の受入体制の整備を図る。			
事業内容		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
		○市営片男波海水浴場駐車場管理運営 ○観光遊歩道路 ○観光灯台	○市営片男波海水浴場駐車場管理運営 ○和歌浦観光遊歩道路 ○雑賀崎観光灯台	観光施設の維持管理(市営片男波海水浴場駐車場、和歌浦観光遊歩道路、雑賀崎観光灯台等)	観光施設の維持管理(市営片男波海水浴場駐車場、和歌浦観光遊歩道路、雑賀崎観光灯台等)	観光施設の維持管理(市営片男波海水浴場駐車場、和歌浦観光遊歩道路、雑賀崎観光灯台等)

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	15,445	12,059	15,695	13,201	13,221	12,942	13,247	0	13,247	0	
伸び率(%)	△0.9%	△22.8%	1.6%	9.5%	△15.8%	△2%	0.2%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	6,541	9,013	9,031	8,792	8,538	9,343	9,343	0	9,343	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	6,541	9,013	9,031	8,792	8,538	9,343	9,343	0	9,343	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	80	0	81	80	130	0	130	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	5,668	5,909	5,668	5,670	5,721	7,460	5,775	0	5,775	0	
一般財源(税等)	9,777	6,150	9,947	7,531	7,419	5,402	7,342	0	7,342	0	
所要人数(人)	正規職員	0.82	1.13	1.13	1.10	1.06	1.16	1.16	0.00	1.16	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	駐車場管理運営委託料5,711千円、光熱水費2,124千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
市営片男波海水浴場駐車場利用台数		台	目標値	20000	20000	20000	20000	20000
			実績値	17063	15030	12641		
			達成度(%)	85.3%	75.2%	63.2%	%	%
市営片男波海水浴場駐車場利用台数		台	目標値	20000	20000	20000	20000	20000
			実績値	17063	15030	12641		
			達成度(%)	85.3%	75.2%	63.2%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	安全・安心で快適な観光地を整備し、維持管理することは、観光客誘致の最も基本的な事業である。近年は、ウォーキングやトレッキングブームもあり、「歩く」という視点で健康的で快適な観光地の整備を強化していく。
見直し・改善内容	安全・安心で快適な観光地の整備に加え、施設の魅力を向上させるような適切な整備を行っていく。